

Press Release

Genelec 「The Ones」 がモッテン・リンドベルグの イマーシブ・スタジオをさらに強化

株式会社ジェネレックジャパン（代表取締役：村井幹司、本社：東京都港区）は、フィンランドのスピーカー・ブランド、Genelec のシステムがグラミー賞を受賞したサウンド・エンジニアであり音楽プロデューサーであるモッテン・リンドベルグ氏のイマーシブ・スタジオへ導入されたことを発表します。



1992 年に自身の制作会社、Lindberg Lyd を拠点としてレコーディングのキャリアを開始したリンドベルグ氏は、ノルウェー内外の作曲家やパフォーマー達を起用した高音質のレコーディングに特化したレーベル「2L」を設立。この度、さらにその音質の水準を高めるべく、Genelec のスマート・アクティブモニターとウーファー・システムを用いた 7.1.4 環境を構築しました。

新たにアップグレードされたリンドベルグ氏のポストプロダクション・スタジオは、イマーシブ・オーディオの編集、ミックス、マスタリング用として設計されました。Dolby Atmos と Auro-3D の両方に対応したモニタリング・システムは、「The Ones」シリーズで構成。まずはベース・レイヤーに設置された 7 つの同軸 3 ウェイ・モニター 8351B とそれぞれに加えられたアダプティブ・ウーファー・システムの W371A。ハイト用には軽くてコンパクトな 8341A を 4 本用意。LFE にはサブウーファー 7380A に加え、120Hz 以上の周波数帯域を確認する用途で、2 ウェイ・ニアフィールド・モニター 8320A を 7380A の天辺付近に配置。これは流通前の最終段階となるマスタリングにおいて、LFE チャンネルの内容の確認を行うためのチェックポイントとして機能します。

リンドベルグ氏は、「The Ones の同軸設計は、素晴らしいイメージングが得られることを実感しました。サラウンドだけでなくフル・サラウンドでもその実力を発揮するので、ソースのディテールの詳細を保持したまま空間の高さを拡張することができるのです。私たちが使用するすべての The Ones は、単体でも広範囲にわたるバンド幅を再生する実力がありますが、W371A が加わることによってより意図して体感的かつ感触的な音の側面にリーチでき、音の振動に至るまでサウンドとして体感することを可能としたのです」と語ります。

リンドベルグ氏は、GLM (Genelec Loudspeaker Manager) を利用して、モニタリング・システムの接続管理／キャリブレーション／コントロールを行なっています。「GLM の最も優れている点として、ネットワークに接続するスピーカーの数やその設置、設定の状況に応じて臨機応変に対応できるということがあります。加えて GLM はモニター・コントローラーとしても機能し、全てのスピーカーにアクセス可能です」とその魅力についてコメントしています。

詳細は、下記 URL の記事および動画をご覧ください。

www.genelec.jp/references/morten-lindberg/

■ Genelec について

Genelec のミッションはサウンドをできるだけ忠実に再現することで、お客様の夢を叶える手助けをすることです。Genelec は 1978 年以来、高品質のスタジオ・モニターおよびアクティブ・スピーカーを開発し続けております。他の追随を許さない Genelec の研究開発への取り組みは、数々の業界初となる製品を生み出し、アクティブ・モニターで業界を牽引する存在として活躍しています。株式会社ジェネレックジャパンは、日本のお客様に対するサービスとサポートをさらに強化し、Genelec ブランドおよび革新的技術を皆様にご紹介しています。

www.genelec.jp

■ 本プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社ジェネレックジャパン 担当：浅田

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-22-21 | Tel : 03-6441-0591 | email : press@genelec.jp

※高解像度画像につきましては、下記 URL よりダウンロードいただけます。

www.genelec.jp/press/20210128_morten-lindberg/